## 児童•思春期精神医療入院診療計画書

患 者 氏 名	(男・女)	生年月日	昭和・平成	年	月	日 生	(	歳)
診断名 (状態像名)			ICD-10(コー	ド番	:号)	:		

## I. 発育・社会的環境

発達・生育歴	家族構成:	社会的環境:	c. 職歴
□特記事項なし	(同居家族を含む)	a. 就学状況	
□あり		b. 教育歴	d. 交友関係など
		(最終学歴: )	

## Ⅱ. 入院時の状況

<b>11</b> · / <b>(</b>  )	II. ) Հիջևով ՀՀ-ՄՀ-ՄԱ											
入院年月日		平成	年	月	目	(	曜日)	入	院	□任意入院	□医療保護	養入院
								形	態	□措置入院	□その他	
土	患者:											
訴	家族(多	と・母	・その	)他		):						
特別な栄養	<b>美管理の必</b>	・ 要性	:	有	•	無						
症状 お』	はび 問題	訂行動	:									
A. 行	A. 行 動:a. 動 き:□多動 □寡動 □常同症 □拒絶症 □奇妙な動作( )											
	b. 表 情:□不安・恐怖・心配 □憂うつ □怒り・敵意 □無表情											
	c. 話	し方	ī : □á	减黙	□不	明瞭	□吃音□□	反響言語	i			
	d. そ の 他:□睡眠障害 □食行動異常 □排泄障害 □習癖異常											
B. 情	緒:口不	安定	□無感	婧	□怒	り・敵	で □不安・	· 恐怖 ·	小配 口	]高揚 □抑うつ気	分 □感情の不	調和
C. 対人関	係:□ひき	きこもり	り <sub>□</sub>	自己。	中心自	勺 □	他罰的 口共	感性欠	如			
D. 知的機	能:□注意	急散漫	□興	味限)	号 [	二記憶	障害 □知的	)障害	□学習(	能力)障害		
E. 意	E. 意											
F. 意	欲:□消ᡮ	<b>亟性</b> [	□意欲	減退	<b>□</b> ‡	無為	□意欲亢進					
G. 行	G. 行 為:□自傷 □他害・暴行 □盗み □器物破損											
H. 知												
Ⅰ. 思 考:□心気症 □強迫観念・行為 □恐怖症 □自殺念慮・自殺企図 □離人体験 □病的な空想 □作為体験												
□罪業妄想 □被害・関係妄想 □その他の妄想(       ) □連合障害												
J. そ の	J. そ の 他: □病識欠如 □不登校 □計画的な行動がとれない □衝動コントロールの欠如 □主体性の未確立											
具体的な事柄:												

## (※) 担当者名

主治医	看護師	精神保健福祉士	公認心理師	その他

Ⅲ. 治療計画		(患者	氏名	)			
予定治療期間(	週間/月)	基本方針:					
本人の希望:							
		治療と検査:					
家族の希望 :		A. 治療:					
		精神療法:					
		□個人精神療法:	回/週 □集団精神療法:	回/週			
目標の設定:		□認知行動療法:	回/週 □生活療法:	回/週			
		薬物療法:					
		   □抗精神病薬 □抗	うつ薬 □抗躁薬 □抗不安	薬			
同意事項:		│ □抗てんかん薬 □	睡眠導入剤				
□検査	□診断の確定	□その他 (		)			
□薬物療法の調整	□精神症状の改善	   B. 検査:					
□問題行動の改善	□生活リズムの改善	理化学検査:					
□家族関係の調整	□主体性の確立	□血液検査 □心電	図 □脳波 □X 線				
□社会復帰		□CT (MRI) 検査 □その他 (					
□その他(	)	心理検査:					
	,	□知能検査(		)			
		□性格検査(		,			
行動制限・ロチュ ロー	 あり(電話、面会、外出						
退院後の目標:		労 □デイケア □地域作	美別				
	の他 (			)			
IV. 家族へのアン	プローチ 						
面接:		[] 7 (a) (b) (	具体的アプローチ	-			
	週・月(□父親 □母親 · □/週・日	□その他( ))					
その他:	□本人との同席面接: 回/週・月 その他:						
□家族療法:	回/週・月 □その	の他: 回/週・月					
V. 学校・教育への	カアプローチ						
入院中の教育的配慮:		学校への具体的アプロー	チ: □本人の同意 □保護	者の同意			
□院内学級・院内分		□担任 □養護教諭 □生徒指導担当 □その他( )					
□地元(原籍)校へ	の通学 □訪問学級	□現状での問題点(					

(串老氏夕

Ш 没降計画

□通信教育 □その他(

上記説明を受けました。 平成 年 月 日 本人サイン 保護者サイン

(注) 内容は、現時点で考えられるものであり、今後の状態の変化等に応じて変わり得るものである。 (児童・思春期精神医療入院診療計画書記載上の注意)

□今後の方向性(

- 1. 入院の早い時期に、医師、看護師、精神保健福祉士、公認心理師などの関係者が協力し、治療
- 計画を決めること。
  2. すみやかに、患者、保護者へ説明を行うとともに交付すること。(病状によっては、別紙2のみ の交付でも可)